

# あそびまつりだより No. 2

2017.9.11

頌栄幼稚園

玉入れや大玉など、園庭に出ている道具を横目に、子ども達はそれぞれ色んな思いをもって登園してきている様子でした。

玉入れを初めて見たのか年少組が「あ、これテレビで見たことあるー！！」と嬉しそうに指を差していたり、じっと玉入れを見てから嬉しそうにお部屋へと駆け出す子どももいました。

さあ、子ども達でどんな遊びが始まっていくのか楽しみです。

玉入れの玉がころころーっと、スロープの門下をくぐって外へ転がりました。

教師：どうしたら転がらないのかな？

子ども：「門の下の隙間になんかおいたらいいねん。」「お部屋からおもちやとか持ってくる？」「もってきて門の下に並べよ！」

教師：でもそうしたら…、扉が開かなくなるからなあ…。

子ども「じゃあ、これを（玉入れのゴール）運んだらいいんじゃない？」「いいねえ。」「砂場の方とかがいいんじゃない？！」

教師の心（なるほど…。でも砂場はちょっと行き過ぎかなあ…。汗）

そんな話をしている間に、お片付けの時間に…。ああ残念！

子どもたちの話し合いは、色んなアイデアが溢れています。「おもちゃを門の下に並べる」なんて、大人には思いもつきませんよね。こどもならではのびっくり仰天なアイデアもありますが、いつもいつも上手くいくとは限りませんが、話し合いを進める中で子どもたちは子どもたち自身でちゃんといい方法にたどり着けることを信じています！

## 年少

年中や年長の子ども達に比べ、まだまだ小さい年少組の子ども達。玉入れの玉がなかなかゴールに入ってくれません…。

教師が「どうやったら入るのかなあ？」とつぶやくと…。

年少A「こうしたらいいんだよ！見てて！」

そういつて、ちょっと離れたところから助走をつけてポーイと投げました。玉は入りませんが、さっきよりも遠くに飛んだ玉を見て、にやりと嬉しそうなAくん。

それを見て真似をするお友達も…！

投げ方ひとつとっても、色んな遊び方を見つけ、楽しんでる子どもたち。すばらしいなと思います。

そして、面白そうに遊ぶ友だちの姿が、遊びの「楽しい」を広げていくんだなと改めて感じた瞬間でした。



玉が入った時、うれしくて歓声をあげて喜ぶ子どもたちでした！